

第67期(2014年9月期) 決算説明会

1

横浜冷凍株式会社

目次 – Table of Contents

I. 2014年9月期 トピックス

II. 2014年9月期 決算サマリー

1. 連結損益計算書
2. セグメント別概要
3. 比較貸借対照表の増減
4. キャッシュフロー計算書
5. 株主還元の様況

III. 2015年9月期 通期業績予想

- ・ 連結業績予想

IV. 第五次中期経営計画

Flap The Wings 2017

- ・ 概要
- ・ 定量目標

V. CSRの取り組み

- ・ 環境活動
- ・ 社会貢献活動

VI. 資料編

- ・ 冷蔵倉庫事業 資料
- ・ 食品販売事業 資料

I . 2014年9月期 トピックス

3

Topics of the FY2014

I .2014年9月期トピックス



フードディフェンスへの取り組み

- ・全国の物流センターにICカード入退館管理システムを導入
- ・施設内のすべてのフロアに全方位カメラや定点カメラを設置
- ・高いセキュリティレベルの実現により、時代が求める「食の安全・安心」を提供



ワンノイ物流センター2号棟竣工

- ・既設のワンノイ物流センターと合わせ収容能力約4万3000トン
- ・移動ラック、自然冷媒の冷凍機など日本国内同様の最新設備導入

石狩第二物流センター竣工

- ・新たな自然対流冷却方式「Sittory D1」を導入
- ・隣接する既設の石狩物流センターと合わせ収容能力約6万トン



夢洲物流センター竣工

- ・経済特区「夢洲地区」への民間進出第1号
- ・630kwの太陽光発電システムを設置、自社利用の他に売電も行う



シーフードショーに出展

- ・ブリュッセル（ベルギー）の欧州シーフードエキスポに出展
- ・ジャパン・インターナショナル・シーフードショーに出展、来場者アンケート商社部門第6位・食品総合第7位
- ・ブルーシュリンプ「葵の煌き（あおのきらめき）」などアピール

Ⅱ .2014年9月期 決算サマリー

5

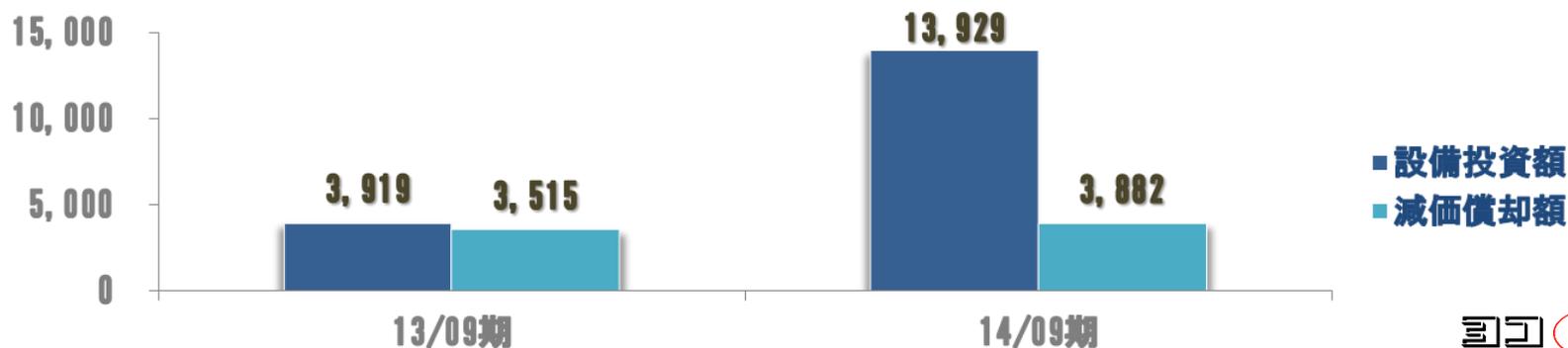
Financial Summary for the FY2014

1. 連結損益計算書

売上および営業・経常利益は増加、特別損失により純利益は減少

(単位:百万円)	13/09期	14/09期	前年同期比		13/11月公表 業績予想	達成率
			増減額	増減率		
売上高	118,691	141,654	22,963	19.3%	130,000	109.0%
営業利益	3,729	4,105	376	10.1%	4,500	91.2%
経常利益	3,806	4,102	296	7.8%	4,500	91.2%
当期純利益	2,308	1,835	△472	△20.5%	2,500	73.4%

(単位:百万円)



2.セグメント別概要 売上高・営業利益（連結）

冷蔵倉庫は売上堅調・利益横ばい 食品販売は売上・利益ともに好調

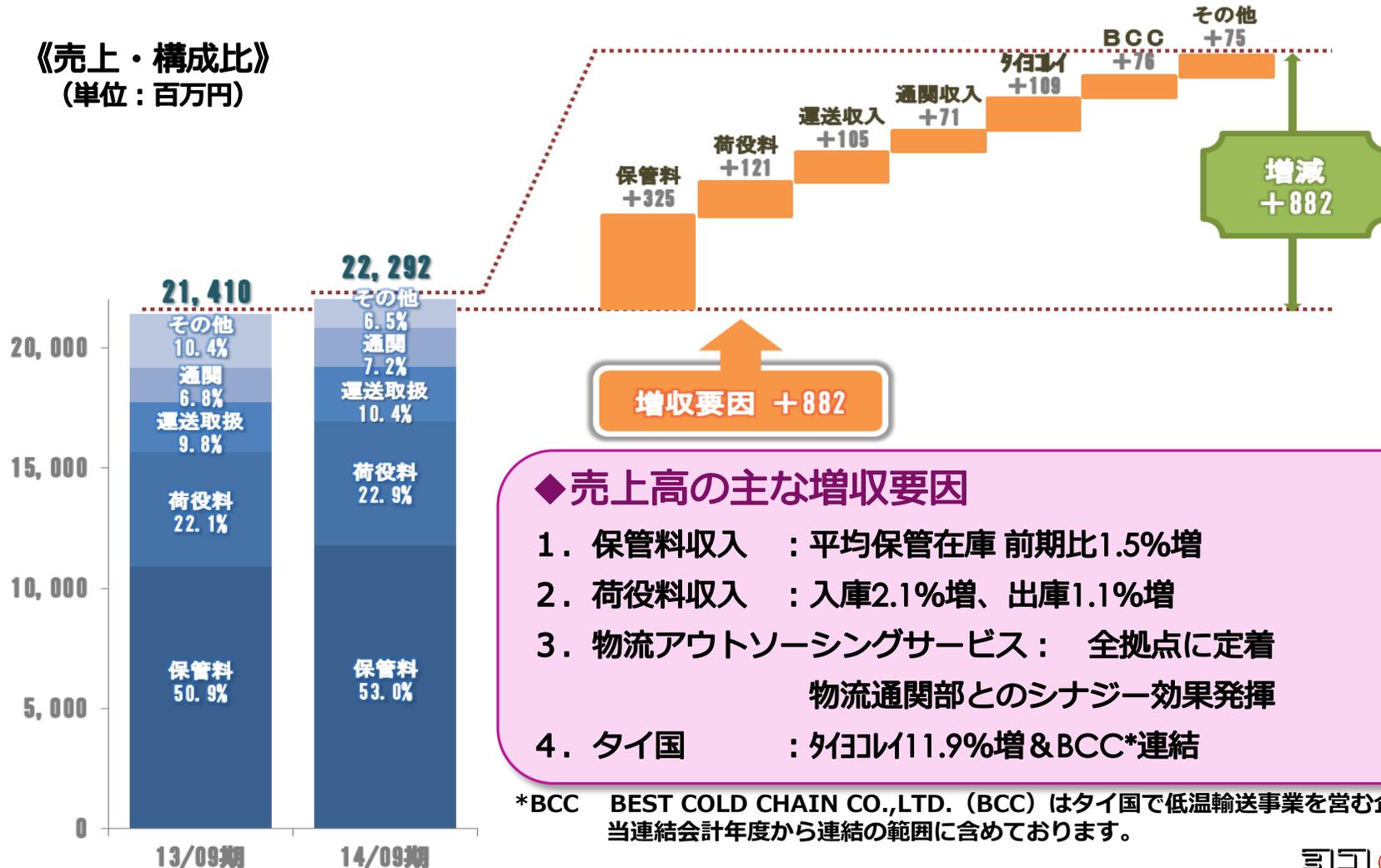
(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	13/09期	14/09期	前年同期比		13/09期	14/09期	前年同期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
冷蔵倉庫事業	21,410	22,292	882	4.1%	4,756	4,792	36	0.8%
食品販売事業	97,262	119,330	22,068	22.7%	721	1,285	564	78.3%
その他	18	32	13	74.7%	6	32	25	375.3%
合計	118,691	141,654	22,963	19.4%	5,483	6,110	626	11.4%

※ 各セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

2.セグメント別概要 冷蔵倉庫事業（売上高）

売上高：22,292百万円（前年同期比+882百万円）

《売上・構成比》
（単位：百万円）



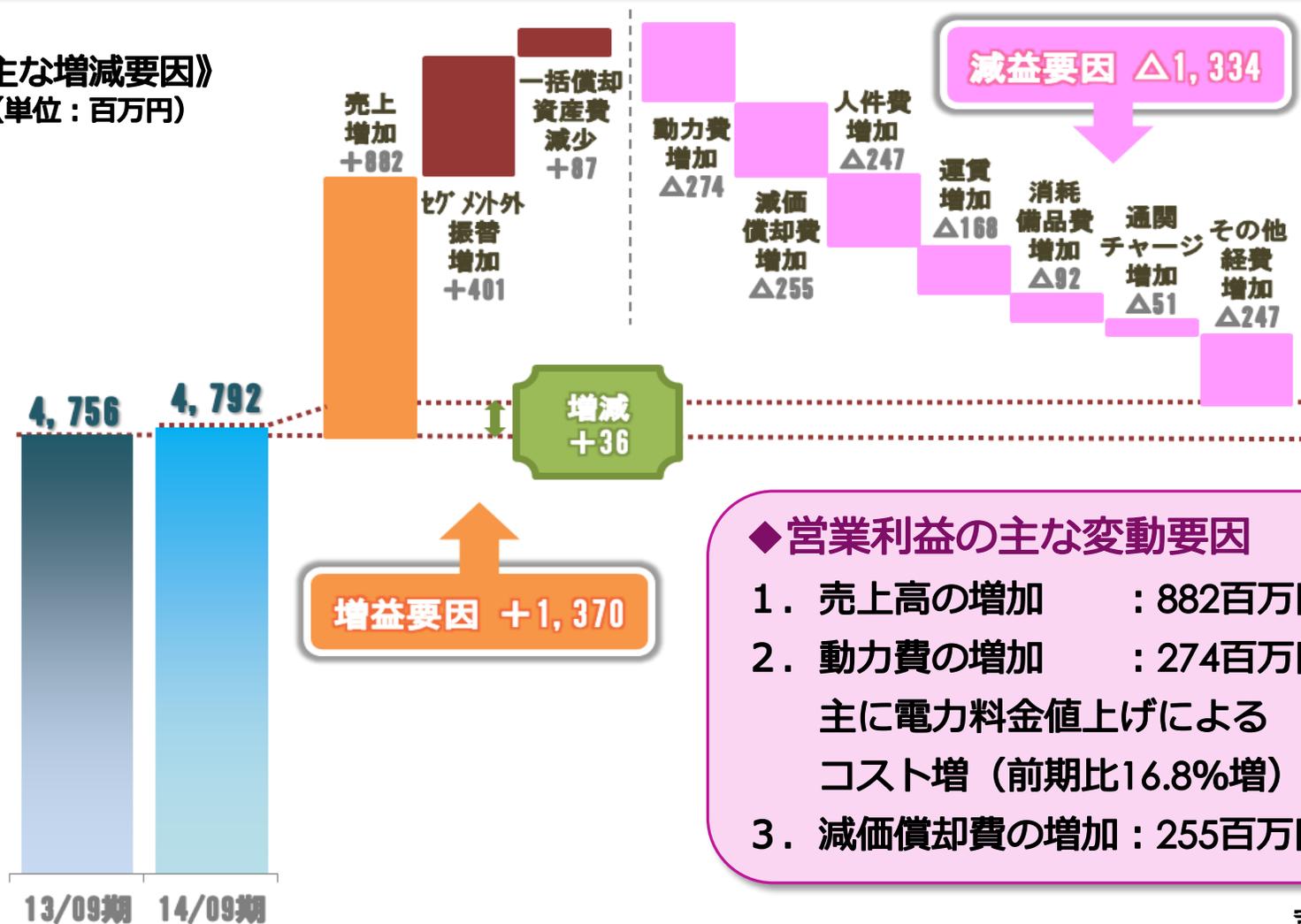
- ◆売上高の主な増収要因
1. 保管料収入：平均保管在庫 前期比1.5%増
 2. 荷役料収入：入庫2.1%増、出庫1.1%増
 3. 物流アウトソーシングサービス：全拠点に定着
物流通関部とのシナジー効果発揮
 4. タイ国：タイ国11.9%増&BCC*連結

*BCC BEST COLD CHAIN CO.,LTD. (BCC) はタイ国で低温輸送事業を営む企業です。当連結会計年度から連結の範囲に含めております。

2.セグメント別概要 冷蔵倉庫事業（営業利益）

営業利益：4,792百万円（前年同期比+36百万円）

《主な増減要因》
（単位：百万円）

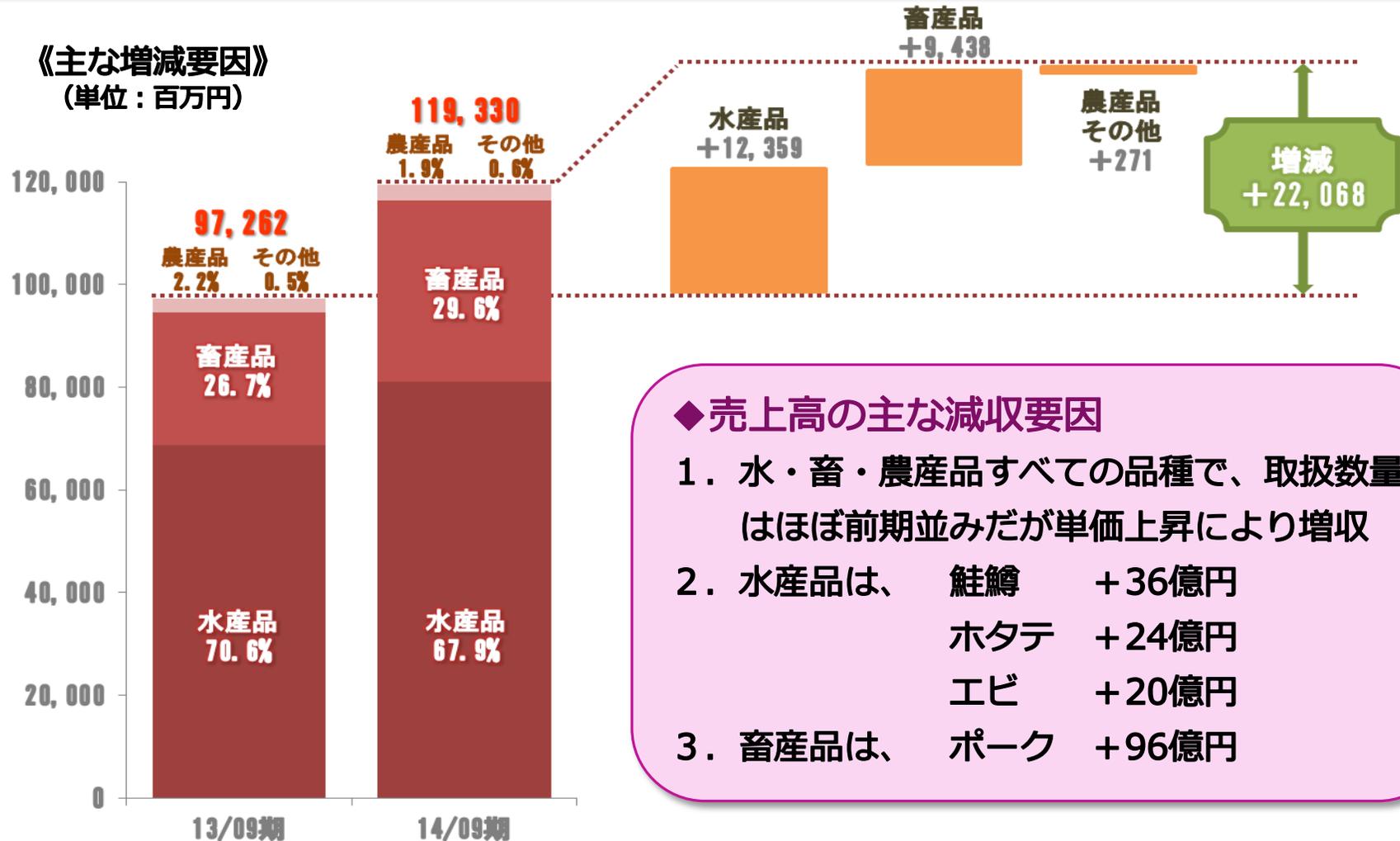


◆営業利益の主な変動要因

1. 売上高の増加：882百万円
2. 動力費の増加：274百万円
主に電力料金値上げによる
コスト増（前期比16.8%増）
3. 減価償却費の増加：255百万円

2.セグメント別概要 食品販売事業（売上高）

売上高：119,330百万円（前年同期比+22,068百万円）



◆売上高の主な減収要因

1. 水・畜・農産品すべての品種で、取扱数量はほぼ前期並みだが単価上昇により増収
2. 水産品は、

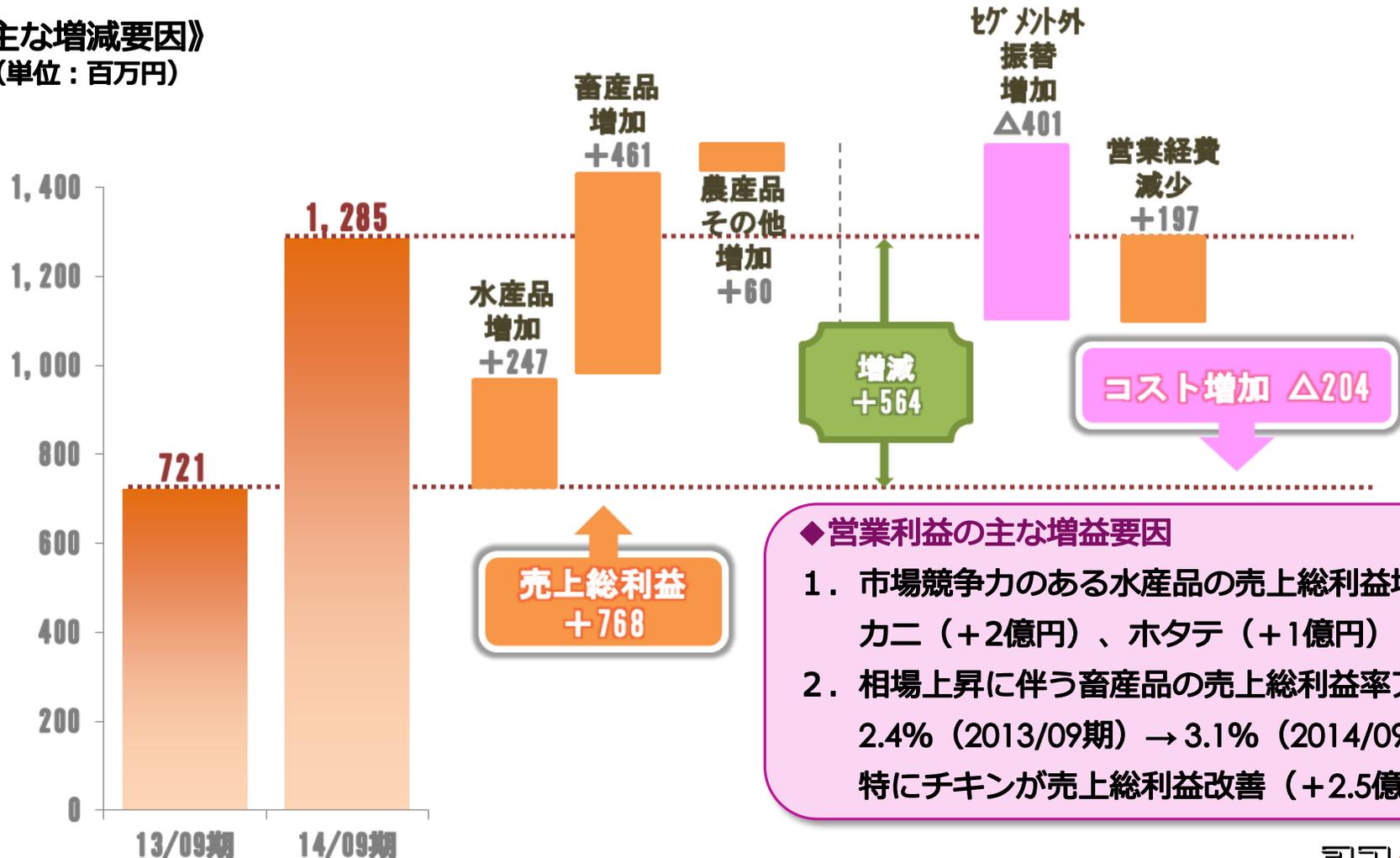
鮭鱒	+36億円
ホタテ	+24億円
エビ	+20億円
3. 畜産品は、

ポーク	+96億円
-----	-------

2.セグメント別概要 食品販売事業（営業利益）

営業利益：1,285百万円（前年同期比+564百万円）

《主な増減要因》
（単位：百万円）



◆営業利益の主な増益要因

1. 市場競争力のある水産品の売上総利益増加
カニ (+2億円)、ホタテ (+1億円)
2. 相場上昇に伴う畜産品の売上総利益率アップ
2.4% (2013/09期) → 3.1% (2014/09期)
特にチキンが売上総利益改善 (+2.5億円)

3.比較貸借対照表の増減（連結）

（単位：百万円）

資産	13/09期	14/09期	増減	負債・純資産	13/09期	14/09期	増減
流動資産	37,328	43,577	6,249	流動負債	19,348	29,646	10,298
現預金	4,159	4,993	833	買掛債務	6,515	7,315	800
売掛債権	16,035	19,646	3,611	短期借入金 *	7,347	15,318	7,971
商品	14,177	17,405	3,227	固定負債	20,085	24,928	4,843
固定資産	60,265	70,632	10,367	長期借入金	11,470	15,956	4,486
有形固定資産	51,403	61,700	10,297	退職引当金	967	1,186	219
投資等	6,537	6,610	73	純資産	58,159	59,635	1,475
総資産	97,593	114,210	16,617	負債及び純資産	97,593	114,210	16,617

主な増減要因

◇流動資産(62億円の増加)

- ・売掛債権 増加 36億円
- ・商品 増加 32億円

◇固定資産(103億円の増加)

- ・建物・構築物 増加 73億円
- ・機械装置・運搬具 増加 21億円
- ・建設仮勘定 増加 2億円

◇流動負債(10億円の増加)

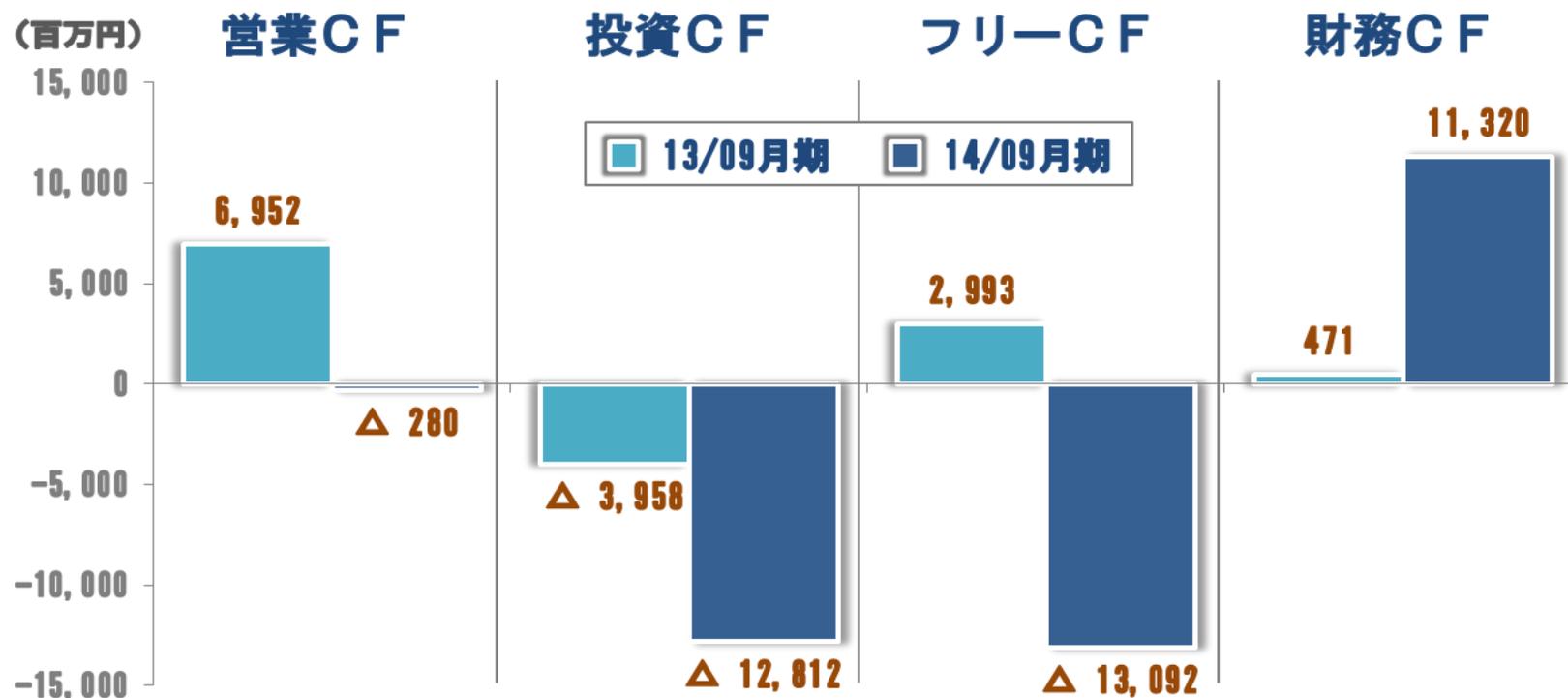
- ・買掛債務 増加 8億円
- ・短期借入金 * 増加 79億円

◇固定負債(48億円の増加)

- ・長期借入金 増加 44億円
- ・退職引当金 * 増加 2億円

※億単位未満切り捨て *短期借入金には1年以内返済予定の長期借入金含む *退職引当金には役員退職慰労引当金を含む

4. キャッシュフロー計算書（連結）



14/09月期
主要要因

◇営業CF

- ・税金等調整前当期純利益 +34億円
- ・減価償却費 +38億円
- ・売上債権の増減額 △36億円
- ・棚卸資産の増加 △32億円

◇投資CF

- ・有形固定資産の取得 △120億円
- ・定期預金預け入れ △5億円

※億単位未満切り捨て

◇フリーCF

- ・前年同期比 160億円減

◇財務CF

- ・借入金 +124億円
- ・配当金支払 △10億円

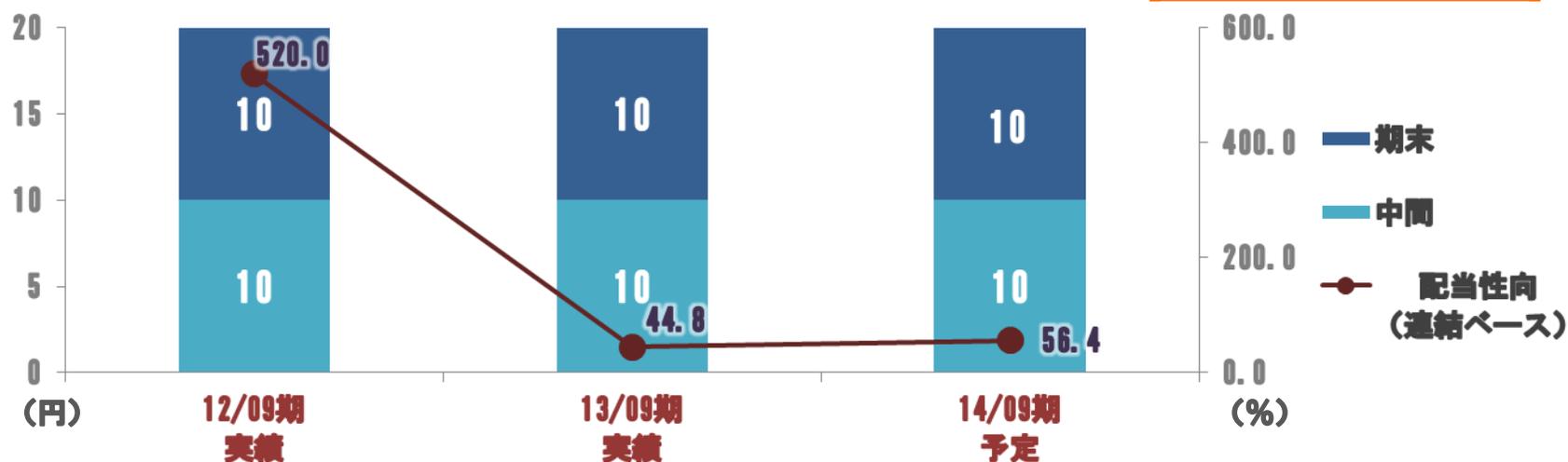
◇現金及び現金同等物

- ・前年同期比 17億円減

5.株主還元の様況

配当性向：40%以上を維持

配当金 (円/1株)	12/09期 実績	13/09期 実績	14/09期 予定
期 末	10.0	10.0	10.0
中 間	10.0	10.0	10.0
合 計	20.0	20.0	20.0



Ⅲ.2015年9月期 通期業績予想

15

Earnings Forecast for the FY2015

2015年9月期 連結業績予想

新中計施策の遂行による安定・着実な成長へ

(単位:百万円)	14/09期 通期 実績	15/09期 通期 予想	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	冷蔵倉庫事業	22,292	23,600	1,307	5.9%
	食品販売事業	119,330	120,000	669	0.6%
	その他事業	32	30	△2	△6.3%
	売上高	141,654	143,630	1,975	1.4%
営業利益	冷蔵倉庫事業	4,792	4,800	7	0.2%
	食品販売事業	1,285	1,600	314	24.5%
	その他事業	32	30	△2	△7.4%
	配賦不能費用	2,004	2,030	25	1.3%
	営業利益 (営業利益率)	4,105 (2.9%)	4,400 (3.1%)	294 (0.2P)	7.2%
経常利益 (経常利益率)	4,102 (2.9%)	4,260 (3.0%)	157 (0.1P)	3.8%	
当期純利益 (当期純利益率)	1,835 (1.3%)	2,500 (1.7%)	664 (0.4P)	36.2%	
減価償却費	3,882	4,462	579	14.9%	

業績予想

売上高
1,436億円

営業利益
44億円

経常利益
42億円

当期純利益
25億円

IV.第五次中期経営計画

Flap The Wings 2017

第68期(2015年9月期)～第70期(2017年9月期)

第四次中期経営計画の振り返り

売上高
達成率
109.0%

目標
1,300億円
実績
1,416億円

営業利益
達成率
91.2%

目標
45億円
実績
41億円

経常利益
達成率
91.2%

目標
45億円
実績
41億円

当期純利益
達成率
73.4%

目標
25億円
実績
18億円

ROE
目標値比
△0.8P

目標
4%台
実績
3.2%

配当性向
目標値比
+16.4P

目標
40%以上
実績
56.4%

第五次中期経営計画の概要

キャッチフレーズ Flap The Wings 2017

位置付け

第四次中期経営計画で築いた事業モデルの礎をベースに、さらなる質の向上をはかり、安定的で着実な成長を目指す

基本方針

当社が培ってきた強み・経営資源を最大限活用し、ヨコレイならではの質の高いサービスを提供することで、お客様とのWin-Winの関係構築・パートナーシップの強化をはかる



最終年度（2017年9月期）定量目標（連結ベース）

売上高 1,500億円 ROE 5.1%
 営業利益 57億円 配当性向 40%以上

（単位：億円）	前中計最終年度実績 （14/09期）	本中計目標値 （17/09期）	増加率
売上高	1,416	1,500	5.9%
営業利益	41	57	38.8%
経常利益	41	57	38.9%
当期純利益	18	32	74.3%
ROE	3.2%	5.1%	+1.9p
配当性向	56.4%	40%以上	-
EBITDA	79	100	25.2%
自己資本比率	51.5%	52.0%	+0.5p

冷蔵倉庫事業のビジョン

目指す姿：

クールネットワークのリーディングカンパニー

“COOL” Comfort & Originality Outsourcing Logistics

方針：

保管・物流拠点化、全国ネットワーク化を進めることにより、顧客に最適物流を提供する
ヨコレイが持つハード・ソフトのリソースを最大限活かし、顧客のニーズにかなったヨコ
レイならではのサービスを提案する

定量目標：

(単位：億円)	前中計最終年度実績 (14/09期)	本中計目標値 (17/09期)	増加率
売上高	222	258	15.7%
営業利益 (※)	47.9	57.8	20.6%

※ セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

冷蔵倉庫事業の基本戦略

1. 保管・物流拠点化の推進

- ・ 高品質を求める顧客へのターゲットアプローチ
- ・ 運送ネットワークの強化
- ・ 顧客ニーズに対応した設備機能の充実
- ・ 品質の維持・向上へつながる基本徹底



2. 全国ネットワーク化の推進

- ・ ネットワークを活かした提案営業の実施
- ・ 全国の拠点における均一なサービス品質の提供
- ・ 品質の維持・向上へつながる基本徹底



食品販売事業のビジョン

目指す姿：

安定的な利益追求を基本としながらも、
強みのある商材を全社的に展開

方針：

安定的な収益確立のため取組商売に徹する

- ・販売先との継続的な取引関係確立
- ・強みのある商材のさらなる充実化

定量目標：



(単位：億円)	前中計最終年度実績 (14/09期)	本中計目標値 (17/09期)	増加率
売上高	1,193	1,242	4.1%
営業利益 (※)	12.8	19.2	49.4%

※ セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

食品販売事業の基本戦略

1. グループ各部門のさらなる連携

- ・全国各地の営業拠点の連携を強化し、強みのある商材の展開を促進

2. 海外取引の推進

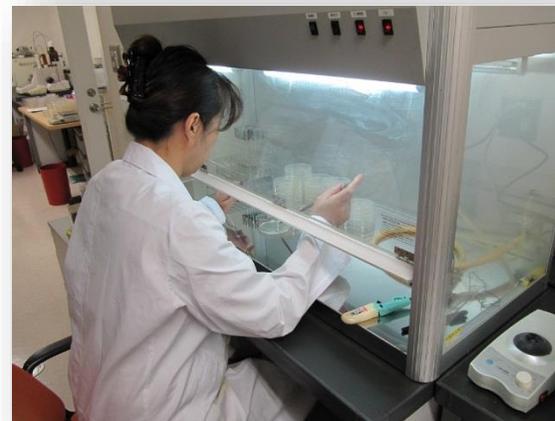
- ・輸出商材のラインナップ拡充
- ・輸入面では、さらなる規模拡大にむけた態勢づくりを積極的に進める

3. 品質管理の強化

- ・「食の安全・安心」へのニーズが高まる中、品質管理面でのさらなる体制強化をはかる

4. リスクコントロールの強化

- ・為替、相場、在庫リスクのコントロール体制を強化し、より一層の収益安定を目指す



中期戦略を支える経営基盤の強化

目指す姿：

部門間を越えて自ら提案・行動する
タスクフォース

多様な人材
の活用促進

多様な働き方への対応
実践的な教育プログラムの強化
長期的視点での人材育成

健全性と収益性の両立
経営サポート機能の強化

経営基盤
の強化

財務体質の
維持・強化

I T の推進

環境変化に対応した
最適な I T 基盤の構築



V.C S Rの取り組み

26

CSR Activities

CSRの取り組み（環境活動）

最新のECO技術が結集したヨコレイの冷蔵設備

太陽光発電システム

年間発電量 178万kWh（全社）

CO2削減量 897トン

全国9拠点に導入



ノンフロン冷凍装置

オゾン層を破壊しない自然冷媒（CO2&NH3）

全国50%以上の設備に導入済

（収容能力換算）



地球環境に配慮した事業運営



屋上緑化システム

遮熱効果で温度上昇を抑制

冷却効率向上により電力削減

全国3拠点で2,060㎡敷設



BEMS

(Building Energy Management System)

使用電力を「見える化」

無駄・非効率を改善し電力量削減

2014年に竣工した3拠点に導入



CSRの取り組み（社会貢献活動）

地域交流の主な活動状況

教育・文化への協賛

- **横浜市教育委員会**

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒約27万人が対象
「ふれあいコンサート」・「小学校体育大会」
「総合文化祭」・「スピーチコンテスト」

- **神奈川フィルハーモニー管弦楽団**

「神奈フィル・ブルーダル・サポーターズ」として支援



地域との絆

- **地域や自治体への支援**

北海道小樽市に防災用大型仮設テントを寄贈
横浜市社会福祉協議会への支援

- **神奈川新聞花火大会**

（運営ボランティア含む）



VI.資料編

29

Source Book

業界比較 品目別入庫（セグメント外取引含まず）

品目別入庫実績		13/09期	14/09期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	259 (10.9%)	240 (10.6%)	△19 (△0.3P)	△7.3%
	日冷倉12都市	2,386	2,271	△116	△4.9%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	302 (7.4%)	313 (7.8%)	11 (0.4P)	3.6%
	日冷倉12都市	4,063	4,024	△39	△1.0%
農産品	ヨコレイ (シェア)	234 (17.0%)	248 (17.6%)	14 (0.6P)	6.0%
	日冷倉12都市	1,375	1,411	36	2.6%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	360 (8.9%)	379 (9.0%)	19 (0.1P)	5.3%
	日冷倉12都市	4,050	4,211	160	4.0%
合計	ヨコレイ (シェア)	1,155 (9.7%)	1,180 (9.9%)	25 (0.2%)	2.2%
	日冷倉12都市	11,876	11,917	40	△0.3%

業界比較 品目別月末在庫累計（セグメント外取引含まず）

品目別在庫累計		13/09期	14/09期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	1,001 (13.8%)	985 (14.4%)	△16 (0.6P)	△1.6%
	日冷倉12都市	7,239	6,843	△396	△5.5%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	701 (9.3%)	646 (8.9%)	△55 (△0.4P)	△7.8%
	日冷倉12都市	7,511	7,240	△271	△3.6%
農産品	ヨコレイ (シェア)	784 (24.1%)	873 (25.2%)	89 (1.1)	11.4%
	日冷倉12都市	3,256	3,461	205	6.3%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	466 (11.0%)	507 (11.1%)	41 (0.1P)	8.8%
	日冷倉12都市	4,234	4,563	329	7.8%
合計	ヨコレイ (シェア)	2,953 (13.3%)	3,011 (13.6%)	58 (0.3P)	2.0%
	日冷倉12都市	22,240	22,108	△133	△0.6%

主要品目別 入庫 (セグメント外取引含まず)

主要品目別入庫	13/09期	14/09期	前年同期比	
			増減	増減率
エビ	30,291	28,072	△2,219	△7.3%
サケ	27,104	20,302	△6,802	△25.1%
イカ	14,483	13,322	△1,161	△8.0%
サバ	10,870	16,025	5,155	47.4%
マグロ	7,815	8,084	269	3.4%
水産品計	259,010	239,941	△19,069	△7.4%
ポーク	78,322	80,867	2,545	3.2%
チキン	80,222	89,815	9,593	12.0%
ビーフ	52,501	48,934	△3,567	△6.8%
畜産品計	302,057	313,405	11,348	3.8%
イモ類	28,147	39,543	11,396	40.5%
豆類	12,460	11,945	△515	△4.1%
農産品計	234,427	248,844	14,417	6.1%
冷凍食品他計	360,416	378,860	18,444	5.1%
合計	1,155,912	1,181,051	25,139	2.2%

主要品目別 売上数量・金額・単価（連結ベース）

主要品目	13/09期			14/09期			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
ポーク	28,952	11,157	385	42,535	20,708	486	13,583	9,551	101
ビーフ	7,059	4,733	670	6,773	5,189	766	△286	456	96
チキン	26,666	7,994	299	20,255	6,961	343	△6,411	△1,033	44
鮭鱒	18,434	8,474	459	25,069	12,032	480	6,635	3,558	21
エビ	9,930	9,814	988	9,002	11,799	1,310	△928	1,985	322
サバ	47,022	8,059	171	38,764	8,131	209	△8,258	72	38
ウナギ	1,629	5,508	3,381	1,859	6,247	3,360	230	739	△21
ホタテ	5,458	6,285	1,151	8,365	8,638	1,032	2,907	2,353	△119
ホッケ	14,689	4,454	303	9,829	3,907	397	△4,860	△547	94
カニ	2,399	3,343	1,393	2,481	4,259	1,716	82	916	323

Memo

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、
将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもの
とご理解下さい。

お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社 広報IR部

部長 鈴木 大介

TEL : 045-210-0011

E-mail: Daisuke.Suzuki@yokorei.co.jp

URL : <http://www.yokorei.co.jp/>